

特集 6 歯周病と大腸がん

歯周病は消化管の入り口である口腔の代表的な疾患であり、歯周病に関連する細菌が大腸がんの病態に影響を及ぼしていることが分かってきた。*Fusobacterium nucleatum*がその代表的な細菌の一つであるが、がん遺伝子発現の促進、炎症の惹起、がん免疫システムからの回避などによる機序が考えられている。しかしながら、口腔内の*F. nucleatum*がどのような経路で大腸がんに関連するのかは解明されておらず、今後の研究が待たれる。

キーワード

歯周病, 大腸がん,
Fusobacterium nucleatum

語句解説

特集
対談 1

特集 2

特集 3

特集 4

特集 5

特集 6

話題の
検査

ホット・
World News

最新
トピックス

徒然なる
ままに。



よしはら つとむ
吉原 努

横須賀市立うわまち病院
消化器内科/
横浜市立大学医学部医学科
肝胆膵消化器病学

共著



ひぐらし たくま
日暮 琢磨

横浜市立大学医学部医学科
肝胆膵消化器病学 講師



なかじま あつし
中島 淳

横浜市立大学大学院医学研究科
肝胆膵消化器病学教室 主任教授